

表B

就職に力を入れている大学



ranking	name	place	point
4	法政大	東京	119
5	福井大	福井	82
6	九州工業大	福岡	80
7	早稲田大	東京	77
8	近畿大	大阪	76
9	福岡工業大	福岡	70
10	産業能率大	東京	58
11	立教大	東京	56
12	慶應義塾大	東京	54
	東京理科大	東京	54
14	中央大	東京	53
15	大阪工業大	大阪	50
16	芝浦工業大	東京	40
17	青山学院大	東京	38
18	専修大	東京	36
19	昭和女子大	東京	35
20	国際教養大	秋田	33
	中京大	愛知	33

北海道・東北

ranking	name	point
1	明治大	53
2	立命館大	20
3	金沢工業大	18
4	福井大	15
	大阪工業大	15

関東・甲信越

ranking	name	point
1	明治大	187
2	金沢工業大	87
3	法政大	51
4	近畿大	41
5	早稲田大	38

北陸・東海

ranking	name	point
1	明治大	73
2	金沢工業大	60
3	立命館大	33
4	法政大	26
5	福井大	17

近畿

ranking	name	point
1	金沢工業大	49
2	明治大	24
3	立命館大	22
4	法政大	21
5	福井大	20

中国・四国

ranking	name	point
1	金沢工業大	40
2	明治大	33
3	九州工業大	14
4	富山県立大	10
5	国際教養大	9
	慶應義塾大	9
	専修大	9
	近畿大	9

九州・沖縄

ranking	name	point
1	明治大	38
2	金沢工業大	25
3	九州工業大	14
4	福岡工業大	14
5	島根県立大	10
	九州産業大	10

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学

表A

面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
4	国際教養大	秋田	91
5	産業能率大	東京	79
6	福岡工業大	福岡	74
7	明治大	東京	63
8	東京理科大	東京	55
9	昭和女子大	東京	54
	立命館大	京都	54

ranking	name	place	point
11	中央大	東京	47
12	東京大	東京	46
13	九州工業大	福岡	45
	高知工科大	高知	45
	津田塾大	東京	45
16	国際基督教大	東京	44
17	大阪大	大阪	40
18	福井大	福井	38
19	京都大	京都	36
20	秀明大	千葉	35

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学

秋になり、いよいよ本格的に受験勉強をスタートする時期となりました。志望校選びも佳境を迎えています。これからの学力の伸びで志望校が、どう変わるかわからず、まだまだ決めきれない時期です。第1志望校は決まっても、実力相応校、スベリ止め校を決めなければなりません。夏休みの頑張りでどの程度、学力が伸びたかも気になるところです。これから受ける模試で、どこを志望校として記入するかも重要です。模試で記入した志望校に対する可否判定は、志望校決定の目安になります。志望校としてのチェックポイントも多く、親の意見などもあるため、当然、迷いが生じます。そんな時に活用するのが、エキスパートの意見です。大学通信はオスメの大学について全国の進学校約2000校にアンケート調査を行い、824校から回答を得ました。その結果を順に見ていきましょう。

さまざまな項目別に、オスメの大学を挙げてもらいました。5校連記で項目別に大学を記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント...として集計しました。まずは上の表Aの「面倒見が良い大学」を見てください。トップは14年連続で金沢工業大。進路指導教諭からも「入学後にしっかり力をつけるカリキュラム、教育である」(北海道・公立高)、「教育熱心で学生の生活面も適切に把握し、保護者とのネットワークも確立している」(栃木・公立高)、「施設や設備が充実し、学生をしっかりと育てている。自由度が高く、学びの大切さを教えてくれる」(石川・私立高)、「幅広い学力の学生に対して、きめ細かなメニューを用意し、支援を行っている」(山口・公立高)などと高く評価されています。学習支援を中心とした教育への評価が高くなっています。

2000年から他大学に先駆けて数理工教育研究センターを設置。高校の数学・理科の復習から大学の専門領域で活用できる数理解習まで、個別学習指導が受けられます。企画部広報課長の志鷹英さんがこう話します。

『自ら考え、行動する技術者の育成』を教育目標に掲げていますので、まずは基礎力を身につけさせ、そうすれば

社会に出てからも、日進月歩に進む技術革新についていけます。高校時代の数学や物理ができない学生だけでなく、できる人も立ち返って基礎を学べ、優秀な学生には仲間にも教えることで、さらに力をつけてもらい、教員が小テストの問題を考えさせたりもしています。入学してくる幅広い学力の学生のレベルにあわせた教育が、評価されているのかもしれません。

2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は産業能率大、6位は福岡工業大でした。3位の武蔵大は、「ゼミの武蔵」と言われるほど、ゼミナール形式の授業で有名です。このゼミナールは少人数教育で、今という双方向で授業を進めるアクティブ・ラーニングです。武蔵大は昔から実践し4年間必修です。進路指導教諭の評価もゼミと少人数教育についてが多くなっています。「1年次よりゼミなど少人数教育を行っている」(東京・公立高)、「比較的規模が小さく、学生一人ひとりに目配りできている」(東京・私立高)などです。

次に表Bの「就職に力を入れている大学」を見てみましょう。トップは9年連続で明治大。学生の就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強いのが特徴です。今年の就職先を見ると、みずほFG63人、三井住友海上火災保険44人、あいおいニッセイ同和損害保険40人、損害保険ジャパン日本興亜36人、三菱東京UFJ銀行32人などです。

全国824進学校の進路指導教諭が選ぶイチ押し<sup>TM</sup>の大学はここだ！



10月からセンター試験の出願が始まり、11月からは推薦入試が始まり、いよいよ入試シーズンの幕開けです。この時期は受験勉強と同時に志望校選びも本格化します。志望校選びは迷うものですが、そんな時に頼りにしたいのがエキスパートの意見。全国824進学校の進路指導教諭オスメの大学はどこでしょうか。

表H 入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大	東京	320
2	京都大	京都	231
3	東北大	宮城	202
4	早稲田大	東京	201
5	慶應義塾大	東京	138
6	明治大	東京	127
7	九州大	福岡	82
8	名古屋大	愛知	68
9	北海道大	北海道	64
	大阪大	大阪	64
11	上智大	東京	60
12	立教大	東京	56
13	筑波大	茨城	54
14	同志社大	京都	49
15	金沢工業大	石川	47
16	国際基督教大	東京	46
17	東京理科大	東京	42
18	東京工業大	東京	40
19	青山学院大	東京	37
20	一橋大	東京	35

表G 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	261
2	武蔵大	東京	169
3	国際基督教大	東京	164
4	金沢工業大	石川	120
5	九州工業大	福岡	86
6	産業能率大	東京	81
7	会津大	福島	65
8	成城大	東京	54
9	都留文科大	山梨	49
10	富山県立大	富山	48
11	成蹊大	東京	43
12	福岡工業大	福岡	42
13	高知工大	高知	40
14	立命館アジア太平洋大	大分	37
15	学習院大	東京	36
	明治学院大	東京	36
17	東京農工大	東京	35
18	豊田工業大	愛知	32
19	神田外語大	千葉	31
20	京都工芸繊維大	京都	30

表F 改革力が高い大学

1	近畿大	大阪	318
2	立命館大	京都	263
3	早稲田大	東京	202
4	東北大	宮城	193
5	東京大	東京	166
6	東洋大	東京	154
7	法政大	東京	119
	明治大	東京	119
9	京都大	京都	100
10	広島大	広島	76
11	九州大	福岡	73
12	関西学院大	兵庫	66
13	佐賀大	佐賀	57
14	大阪大	大阪	43
15	筑波大	茨城	41
	千葉大	千葉	41
17	金沢大	石川	31
18	立教大	東京	27
	関西大	大阪	27
20	岡山大	岡山	24

表E 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,156
2	京都大	京都	946
3	東北大	宮城	594
4	東京工業大	東京	301
5	名古屋大	愛知	247
6	大阪大	大阪	203
7	九州大	福岡	116
8	筑波大	茨城	93
9	東京理科大	東京	72
10	北海道大	北海道	64
	慶應義塾大	東京	64
	近畿大	大阪	64
13	早稲田大	東京	62
14	金沢工業大	石川	35
15	広島大	広島	27
16	一橋大	東京	25
17	芝浦工業大	東京	22
18	学習院大	東京	20
19	名古屋工業大	愛知	17
20	名城大	愛知	15
	関西大	大阪	15

表D グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	744
2	国際基督教大	東京	396
3	上智大	東京	358
4	立命館アジア太平洋大	大分	264
5	早稲田大	東京	179
6	東京外国語大	東京	148
7	立教大	東京	116
8	東京大	東京	108
9	関西学院大	兵庫	102
10	関西外国語大	大阪	98
11	神田外語大	千葉	80
12	青山学院大	東京	69
13	立命館大	京都	67
14	東北大	宮城	58
15	広島大	広島	56
16	法政大	東京	52
17	九州大	福岡	49
18	名古屋大	愛知	46
19	京都大	京都	45
20	筑波大	茨城	43

表C 教育力が高い大学

1	東京大	東京	677
2	京都大	京都	390
3	東北大	宮城	386
4	東京理科大	東京	153
5	国際教養大	秋田	129
6	国際基督教大	東京	109
7	慶應義塾大	東京	105
8	東京工業大	東京	94
9	大阪大	大阪	89
10	名古屋大	愛知	83
11	筑波大	茨城	77
	九州大	福岡	77
	早稲田大	東京	77
14	金沢工業大	石川	59
15	上智大	東京	42
16	広島大	広島	39
17	北海道大	北海道	38
18	一橋大	東京	28
	武蔵大	東京	28
20	立教大	東京	25

無印:私立大学 黒丸:国立大学 白丸:公立大学

表Gは「小規模だが評価できる大学」

表J-1は「偏差値や地理的、親の

2位は金沢工業大、3位は立命館大、4位は法政大、5位は福井大でした。ランキングには実就職率(就職者数÷(卒業生数-大学院進学者数)×100)が高い大学も多くなっています。卒業生数1000人以上で実就職率トップは、2位の金沢工業大、2位の国公立大10年連続トップの福井大が5位です。4位だった大阪工業大が15位、10位だった芝浦工業大が16位に入っています。5位で女子大トップの昭和女子大が19位で、就職に力を入れている大学でも女子大トップの評価です。地域別にもみると、北海道・東北・関東・甲信越・北陸・東海・九州・沖縄で明治大がトップ。近畿・中国・四国で金沢工業大がトップでした。北海道・東北を除き、いずれの地域でもこの2校が1位、2位を占めています。

表Cの「教育力が高い大学」のトップは12年連続で東京大です。2位以下に大差をつけました。進路指導教諭の評価は「世界の大学評価の中で、日本の大学のトップ。予算規模、研究費が多い(北海道・公立高)」、「多数の著名な研究者を輩出しており、教育力の高さに結びついている」(群馬・公立高)、「授業の質が高いことと先進性がある。学生は多くの学びの機会を与えられ、それを達成できる学びの環境がある」(東京・私立高)、「学生の質が高いこともあるが、真に文理融合ができており、学生の自立を促している」(愛知・公立高)などです。大学の使命は「研究と教育、さらには社会貢献と言われま

すが、なかでも研究と教育が車の両輪に当たるほど重要です。進路指導教諭には「いい研究を行うことで、最先端の知を学生に教育できるのが大学」という考えが強いこともあるようです。2位は京都大、3位は東北大、4位は私立大トップの東京理科大、5位は国際教養大の順。東京理科大については、進級、卒業が厳しいことが、高い評価につながっています。学生を鍛え、伸ばしていることが高い就職実績にもつながっています。

表Dの「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは国際教養大です。2位以下に大差をつけました。「面倒見が良い大学」4位、「教育力が高い大学」5位、「小規模だが評価できる大学」で1位とさまざまな項目で評価が高くなっています。04年に開学し、国際教養学部のみ単科大学です。授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須です。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送ります。進路指導教諭からも「斬新なさまざまな取り組みを行い、今後の大学のあるべき姿を示している」(山梨・私立高)、「少人数教育で、学生を目的をもってきちんと育てている」(愛知・公立高)などの評価です。2位は国際基督教大、3位は上智大、4位は立命館アジア太平洋大、5位は早稲田大でした。

表Eは「研究力が高い大学」です。トップは4年連続で東京大、2位は京都大で、この2校が3位以下に大差をつけました。世界大学ランキングでも

日本の大学では、この2校が1位、2位で、研究力が高く評価されています。以下、東北大、東京工業大、名古屋大と続き、7位までが国立大です。私立大トップは9位の東京理科大です。以下、慶應義塾大と近畿大が10位、早稲田大が13位と続きました。理系学部のある大学が上位を占めています。文系学部のみは16位の「橋大」だけです。

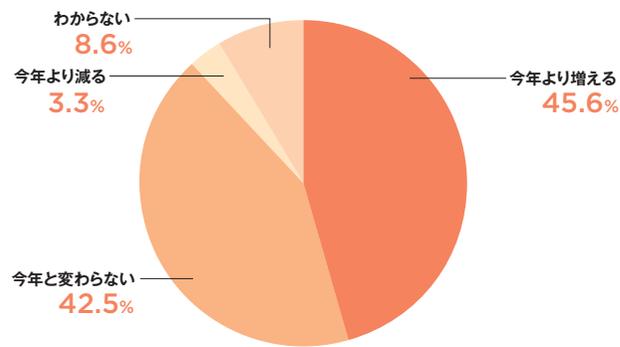
表Fは「改革力が高い大学」です。トップは3年連続で近畿大。一般入試志願者数が5年連続日本一の人気大学です。昨年、メインの東大阪キャンパスに、5つの建物からなる新校舎のアカデミックシアターが竣工しました。24時間オープン自習室、従来とは異なるテーマ別でマンガも並べられている図書館など、斬新なアイデアが盛り込まれています。この8年間に総合社会、建築、国際の3学部を新設していることも改革力の高い評価につながっています。2位は立命館大です。今年、食マネジメント学部を新設し、来年はグローバル教養学部を新設予定です。3位は早稲田大、4位は東北大、5位は東京大となりました。今後、10年間は東京23区内の大学の定員増は認められないことになりました。新学部設置、都心へのキャンパス移転にも歯止めがかかることとなります。23区内の大学の改革が鈍ることが懸念されており、このランキングも変わってきていそうです。

学」です。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、金沢工業大、九州工業大、産業能率大の順です。トップ3はいずれも文系の大学です。少人数教育を軸に学生と教職員の間が近いことで、手厚い教育を行っていることが評価されています。

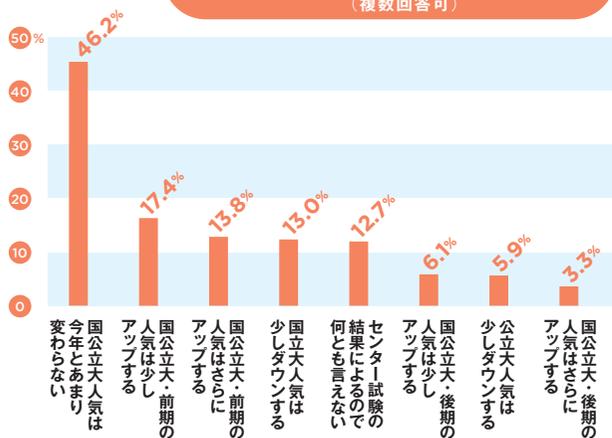
表Hは「入学後、生徒の満足度が高い大学」で、トップは東京大、2位が京都大、3位が東北大と旧帝大がトップ3を独占しました。4位は早稲田大、5位は慶應義塾大、6位が明治大です。難易度の高い大学が上位を占めているのが分かります。難関を突破したことで、満足度も上がるようです。同時に第一志望の生徒も多いこともあるでしょう。予備校関係者は「大手大学が上位ですから、入学すると施設設備の充実、教員の顔ぶれ、授業の種類が豊富、キャンパスが広い、大都市の中心にあって交通の便がいいなど、大規模大学の強みを感じることがたくさんあるからでしょう」と話します。それが入学後の満足度につながっているとみられます。

表Iは「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は東京大で、3位は金沢工業大、4位は東京理科大の順。東北大は「面倒見が良い大学」2位、「教育力が高い大学」3位、「入学後、生徒の満足度が高い大学」3位など、いろいろな面で評価が高く人気もあります。

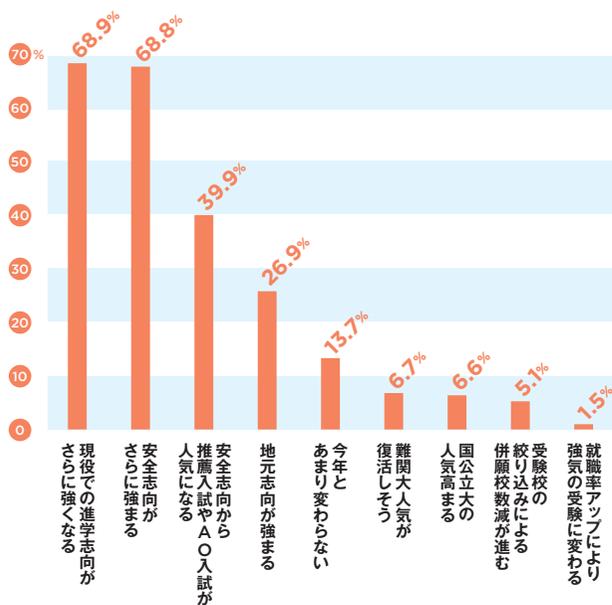
グラフ1 来年のセンター試験志願者数はどうなると思われますか？



グラフ2 来年の国公立大人気はどうなると思われますか？(複数回答可)



グラフ3 近年、「現役志向」「安全志向」「地元志向」の大学選びが強まっていますが、この傾向は来年はどうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



表K 生徒に人気がある大学

1	早稲田大	東京	525
2	明治大	東京	519
3	青山学院大	東京	262
4	慶應義塾大	東京	259
5	立教大	東京	249
6	法政大	東京	189
7	東北大	宮城	161
8	京都大	京都	154
9	東京大	東京	147
10	東洋大	東京	132
11	神戸大	兵庫	128
12	上智大	東京	128
13	近畿大	大阪	127
14	九州大	福岡	125
15	関西大	大阪	120
16	大阪大	大阪	117
17	立命館大	京都	115
18	名古屋大	愛知	113
19	関西学院大	兵庫	103
20	同志社大	京都	102

無印:私立大学 印:国立大学 印:公立大学

表J-2 生徒に勧めたい私立大学

1	慶應義塾大	東京	814
2	早稲田大	東京	806
3	国際基督教大	東京	267
4	上智大	東京	238
5	東京理科大	東京	234
6	同志社大	京都	224
7	明治大	東京	167
8	立命館大	京都	93
9	立教大	東京	90
10	立命館アジア太平洋大	大分	69
11	関西学院大	兵庫	64
12	金沢工業大	石川	58
13	青山学院大	東京	57
14	中央大	東京	47
15	関西大	大阪	46
16	西南学院大	福岡	39
17	法政大	東京	38
18	近畿大	大阪	30
19	南山大	愛知	24
20	武蔵大	東京	21

表J-1 生徒に勧めたい国公立大学

1	東京大	東京	1,101
2	京都大	京都	882
3	東北大	宮城	609
4	大阪大	大阪	312
5	国際教養大	秋田	259
6	東京工業大	東京	208
7	北海道大	北海道	182
8	九州大	福岡	174
9	一橋大	東京	165
10	名古屋大	愛知	158
11	筑波大	茨城	98
12	神戸大	兵庫	82
13	広島大	広島	70
14	千葉大	千葉	63
15	東京外国語大	東京	44
16	金沢大	石川	36
17	電気通信大	東京	30
18	信州大	長野	29
19	九州工業大	福岡	27
20	東京農工大	東京	26
21	岡山	岡山	26

表I 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大	宮城	268
2	東京大	東京	241
3	金沢工業大	石川	206
4	東京理科大	東京	157
5	京都大	京都	118
6	国際基督教大	東京	72
7	慶應義塾大	東京	68
8	国際教養大	秋田	67
9	早稲田大	東京	58
10	産業能率大	東京	56
11	明治大	東京	43
12	九州大	福岡	41
13	武蔵大	東京	40
14	上智大	東京	36
15	中央大	東京	35
16	広島大	広島	34
17	立命館アジア太平洋大	大分	33
18	名古屋商科大	愛知	31
19	東京工業大	東京	30
20	筑波大	茨城	28

人気になる」39・9%となりました。現役での大学進学志向が、より一層強まっています。

グラフ4は「生徒に人気のある大学」です。「自分のしたい勉強ができる大学」が78・3%で7年連続トップです。次いで「社会的評価・イメージが良い大学」63・1%、「知名度が高い大学」58・5%、「家から通える大学」55・8%の順。ここまでが5割を超えています。大学生の就職が好調なこともあり、「就職に有利な大学」「資格が取得できる大学」は5割を切りました。就職よりも自宅から通える大学を選ぶ受験生が多く

なっています。

次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で46・4%、2位は「今人気の学部・学科の新設」と「語学教育充実などカリキュラムの改革」が32・6%でした。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだまだ高くなっています。

グラフ6は「受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視しているか」です。トップは「偏差値」で82・3%の高率です。2位が「学部・学科・研究内容」の70・1%、3位が「大学の知

次にグラフを見ていきましょう。まず初めに来年入試の動向についてです。今年1・2%志願者が増えたセンター試験の志願者が、来年どうなるかについては「グラフ1参照」もっとも多かったのが「今年より増える」45・6%、次に「今年と変わらない」42・5%で、あわせると9割近い近畿大でした。

次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で46・4%、2位は「今人気の学部・学科の新設」と「語学教育充実などカリキュラムの改革」が32・6%でした。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだまだ高くなっています。

次にグラフを見ていきましょう。まず初めに来年入試の動向についてです。今年1・2%志願者が増えたセンター試験の志願者が、来年どうなるかについては「グラフ1参照」もっとも多かったのが「今年より増える」45・6%、次に「今年と変わらない」42・5%で、あわせると9割近い近畿大でした。

次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で46・4%、2位は「今人気の学部・学科の新設」と「語学教育充実などカリキュラムの改革」が32・6%でした。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだまだ高くなっています。

次にグラフを見ていきましょう。まず初めに来年入試の動向についてです。今年1・2%志願者が増えたセンター試験の志願者が、来年どうなるかについては「グラフ1参照」もっとも多かったのが「今年より増える」45・6%、次に「今年と変わらない」42・5%で、あわせると9割近い近畿大でした。

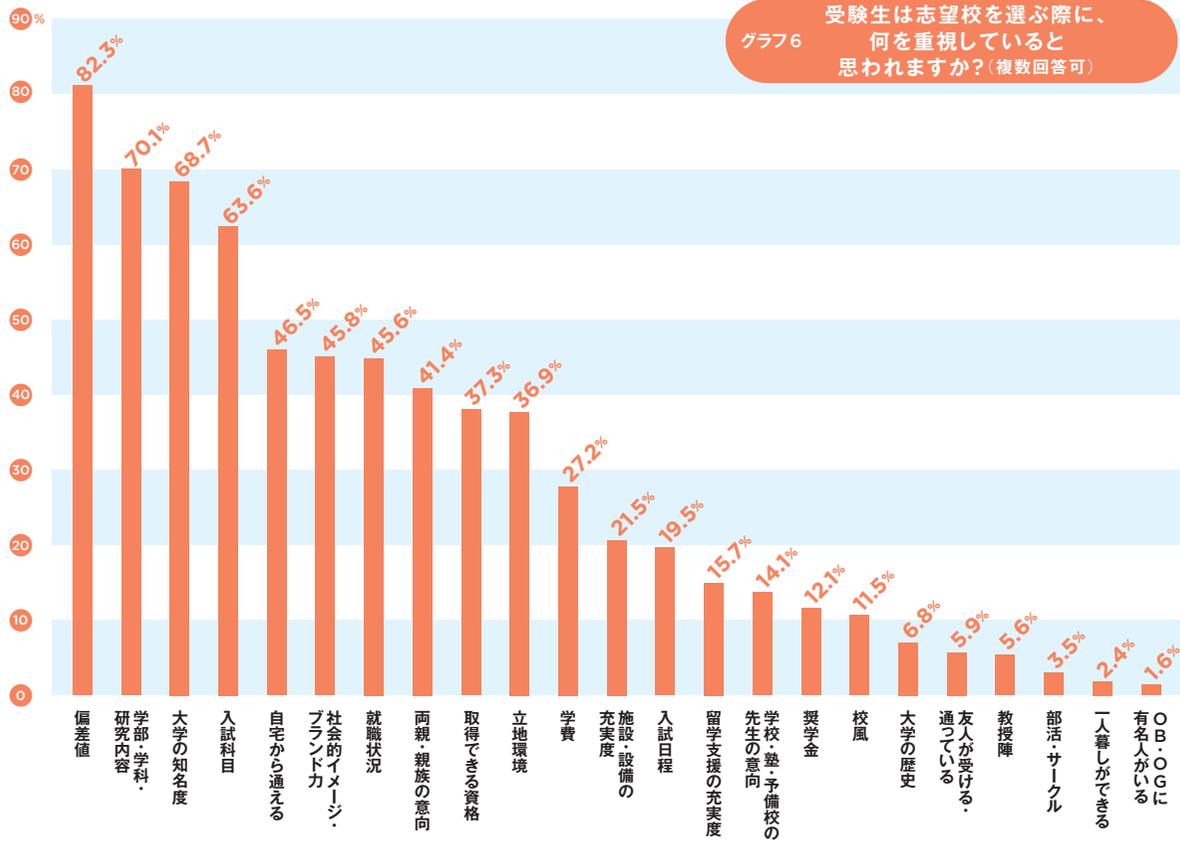
次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で46・4%、2位は「今人気の学部・学科の新設」と「語学教育充実などカリキュラムの改革」が32・6%でした。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだまだ高くなっています。

資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」です。国公立大トップは4年連続で東京大、次いで京都大で、3位が東北大でした。トップ10は旧7帝大7校と東京工業大、一橋大、公立の国際教養大です。難易度の高い大学が上位に来ていることが分かります。それに続く筑波大、神戸大、広島大、千葉大など準難関校といわれる大学が続く、やはり難易度が高い大学の評価が高くなっています。

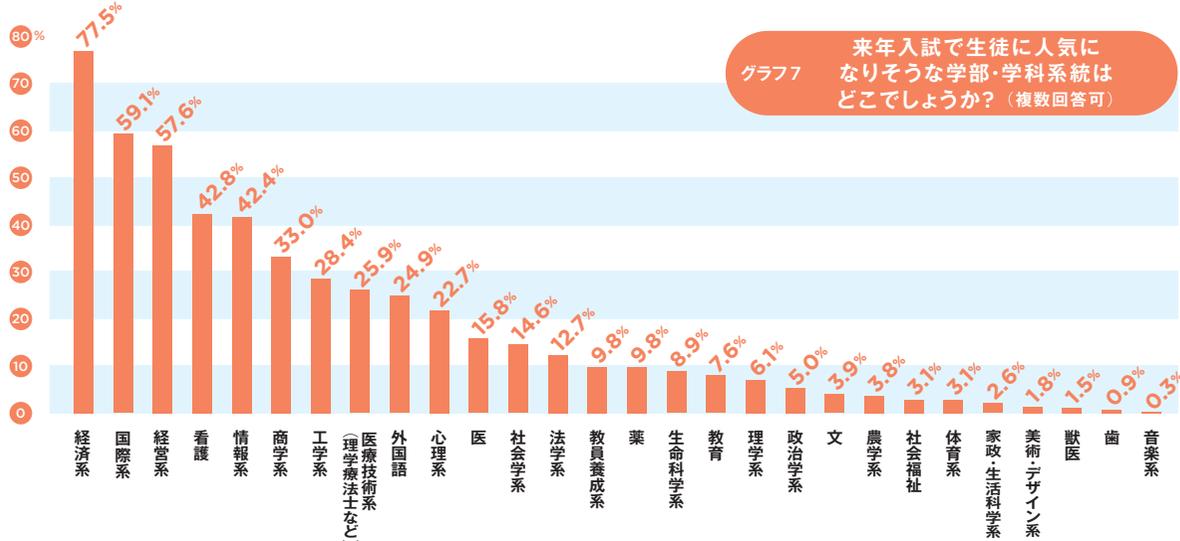
表J-2の私立大はトップが慶應義塾大、2位が僅差で早稲田大で、この2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、上智大、東京理科大、同志社大の順です。やはり難易度が高い大学が上位に来ています。

次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で46・4%、2位は「今人気の学部・学科の新設」と「語学教育充実などカリキュラムの改革」が32・6%でした。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだまだ高くなっています。

受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視していると思われるか？(複数回答可)



来年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？(複数回答可)

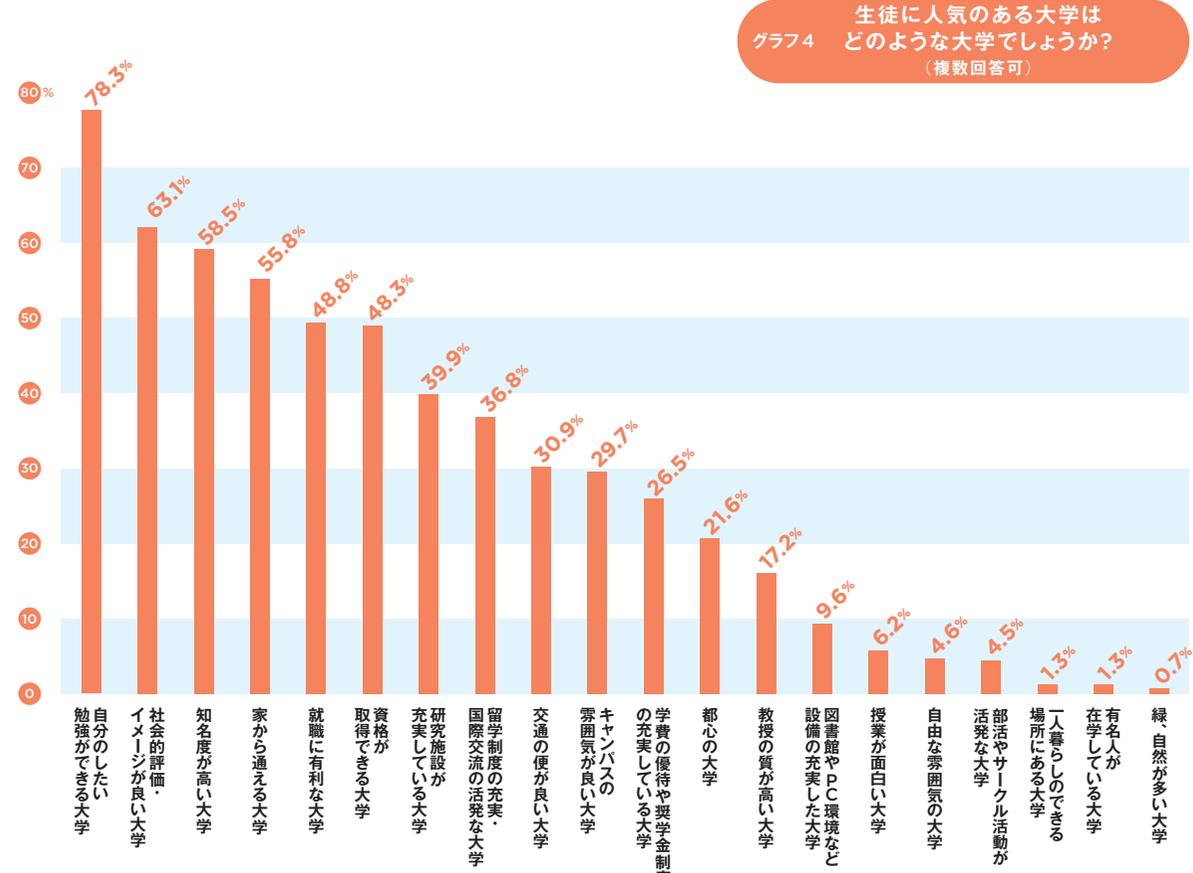


者を定員に近づけるため、年々、定員超過率を上げてきました。来年は定員通り入学させる決まりです。入学者を減らすことは、合格者を減らすことにつながります。すでに合格者を減らす大学が続出しており、一般入試はたいそう厳しくなっています。志願者が増え合格者が減っているのですから、倍率は軒並みアップしています。来年もさらに合格者が減り、厳しい入試になりそうです。私立大の定員割れも改善しています。日本私立学校振興・共済事業団によると、この3年で44.5%↓39.4%↓36.1%となりました。学生募集が厳しい大学にとっては、大きなプラスです。

来年の私立大入試について、どういった指導をするのかも聞いています。もっとも多かったのが「併願校を増やすよう指導」59.3%。次いで「センター試験利用入試を勧める」29.2%、「推薦・AO入試の受験を勧める」23.5%、「受験校のレベルを下げるよう指導」21.4%の順でした。併願校を増やす指導が6割近くで、来年の私立大入試も志願者が増えそうです。

受験勉強の追い込みに力が入る時ですが、受験校選びも本格化する時です。偏差値を重視しながらも、やはり「入りたい大学」選びをしたいものです。志望校選びに迷ったら、エキスパートの意見を参考にしながら、悔いのない志望校選びをしてほしいと思います。

生徒に人気のある大学はどのような大学でしょうか？(複数回答可)



大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。こういった改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？(複数回答可)

